



## ～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室



## 地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れた事例の紹介（第28回）

## ～地域包括支援センターと継続して連携している一例（70歳代女性）～

1週間前から臀部痛がありましたが、痛みが強くなり歩行困難となったため、当院に救急搬送されました。診察の結果、腰椎圧迫骨折の診断で経過観察となりましたが、同居している息子さんに確認したところ、介護サービスを利用しておられないとのことでしたので、地域包括支援センターに連絡し、介入を依頼しました。地域包括支援センターではすでに関わりを持っており、食事、入浴、排泄など日常生活の多くに支援が必要でありながらも、事情があり、積極的な介入には至っていなかったとのことでした。そのような背景もあり、息子さんの了解を得た上で、地域包括支援センターと共同で支援体制を構築することを目的として、即日“彩り”に入院して頂きました。

“彩り”入院後、臀部痛は軽減しましたが、採血の結果、治療を中断しているご病気が見つかり、専門医の診察の上、投薬を再開することができました。治療と並行し、地域包括支援センターにはショートステイ利用の段取りをお願いしました。

現在、介護力に乏しいことから、ショートステイを利用しながら生活しておられますが、ショートステイの空きがない時には“彩り”を利用されています。

高齢社会などを背景に、今後も地域の皆さんと密に連携を取らなければならない事例が増えるのではないかと考えています。地域の皆さんの協力し、地域の役に立てる地域包括ケア病棟“彩り”でありたいと思っています。何かありましたら些細なことでも結構ですので、お気軽に地域医療連携室までお問い合わせ下さい。（地域医療連携室 主任 中嶋 庸介）

## ～平成30年度第2回 認知症疾患医療連携協議会『傍聴』のお知らせ～

この協議会は、地域の専門職の方々に出席いただき、認知症疾患医療センターの活動報告の他、地域課題について意見交換をしています。この協議会ですが、ご自由に傍聴していただけますので、ご興味のおありの方はご参加下さい。

日時：平成31年3月22日（金）午後2時00分～午後3時30分

場所：当院9階会議室

内容：認知機能検査の目的と種類について（脳神経内科部長 大島 洋一）  
高齢者虐待について（意見交換）

知って得する  
ミニレクチャーです。

## こんな時、お問い合わせください。（TEL 0774-73-1818）

利用を予定していたショートステイ先がインフルエンザのため受け入れしてもらえなくなり、困っている。

⇒ 地域包括ケア病棟“彩り”にお問い合わせ下さい。（担当：中野・中嶋）



## 認知症疾患医療センターについて

～丸5年になりました。これからもよろしくお願ひします。～

京都府より認知症疾患医療センター（地域型）の指定を受け、3月で丸5年になりました。当院の認知症患者さんの支援について振り返りたいと思います。

（地域医療連携室 室長 南出 弦）

### ○ 外来患者さんの支援

平成26年7月より、もの忘れ外来（第1・3週の午後）を開設しました。開設当初、診察を希望されてから実際に診察を受けて頂くまでの期間が長く、患者さんや地域の先生方にご迷惑をおかけしていました。現在では、もの忘れ外来の枠以外でも受診して頂くことで診察を希望されてから実際に診察を受けて頂くまでの期間が短くなりました。最近、日常生活で「あれっ」と思われた早期の段階で診察を受けられることが多くなっていますが、一方で、特にMC I（軽度認知障害）の診断を受けられた患者さんの多くは身の回りのことは自立しており介護サービスの対象とならないため、支援が途切れることが多く、当センターでも課題と考えています。今後は、ソーシャルワーカーや臨床心理士が長期にフォローできる体制作りを検討しています。

### ○ 家族交流会について

患者支援として、日々の相談業務の他に“患者家族交流会”を実施しています。ご家族同士が語り合い、日々の介護の悩みを共有する良い機会となっています。



### ○ 認知症カフェについて

木津川市社会福祉協議会が主催の“こすもすカフェ”に協力し、ご家族からの相談に応じています。

1月12日（土）、木津川市南加茂台で開催されたカフェの様子

### ○ 認知症疾患医療連携協議会について

年2回、地域の専門職の方々に出席して頂き、認知症疾患医療センターの活動報告や地域課題について話し合いの場を持っています。地域課題はすぐに解決するものではないことが多いですが、地域の皆さんと情報共有することで少しでも善処すればと思っています。

### ○ 認知症初期集中支援チームについて

木津川市、精華町、東部3町村（笠置町、和東町、南山城村）の認知症初期集中支援チームに、チーム員として参加しています。支援困難者の事例を通じて学ぶことも多く、我々にとって良い機会となっています。

### ○ 認知症サポートチームについて

院内には“認知症サポートチーム”があります。週1回病棟をラウンドし、担当看護師に対し、認知症患者さんの対応方法や環境整備について提案しています。今後は、認知症看護認定看護師が中心となり、認知症ケア加算の取得を目指しています。

### ○ 研修会について

地域の認知症対応力向上を目的として研修会を開催しています。これまで、林こころのクリニックの林先生にもご講演頂いたり、認知症サポーター養成講座も開催しました。研修会の内容についてご要望がありましたらお寄せ下さい。